

4月オープン

もぐち  
トンネル

スロープ  
ジャンプ

わね  
わね山  
ぐにゅぐにゅ  
しこるよ。

『ダメゼッタイ』は薬物乱用防止の合い言葉



## 羽津山緑地

～子供の広場ゾーン完成～

# 「子供の広場ゾーン」 いよいよ開園!!

環境事業団が、三年計画で緑地整備事業として、羽津中学校の北側一帯の山々に約十三ヘクタールもの公園作りに取り組んでいることを、皆さんはご存じですか。

そしてこのたび、三つのゾーンに分かれた羽津緑地の一つの「子供の広場ゾーン」が完成し、四月からの開園を迎えることになりました。

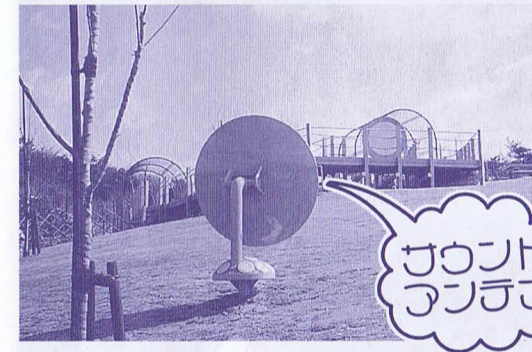
二月のある日、広報部員二人が、環境事業団の吉沢さん、川島さんの案内を受け、まさに急ピッチで進んでいる工事現場を見せていただく機会を得ました。

**駐車場** 中学校を左に見て坂道の頂上手前右側に、駐車場があります。身障者用も含め約50台の駐車が可能だそうです。

**広場** いよいよ羽津緑地公園に入ります。緩やかに登っていくと、左手に細長い建屋があります。管理事務所に続き身障者も利用できるトイレ、屋根付きの休憩所があり、一時の雨宿りには最適です。この広場は子供たちが、緑豊かな自然の中で遊びながら、自然を再発見し、体験するようにユニークな遊具が設置されています。

正面のふわふわ山は、裸足で登ったり下りたりすると「ムニムニ」と不思議な感触が楽しめる小山です。もぐらトンネルからは、いつもと違った空を見て下さい。ロックガーデンでは、レバーを動かすと何やら奇妙な音が聞こえてくる仕掛けや、自然石の形を味わって下さい。のぼり棒は、弾力のある棒の先がぶら下がりやすくなっています。ことと展望場所にあるサウンドアンテナは、向かい合わせにすると、お互いの声がよく聞こえます。林の方に向けると鳥の声や虫の声が聞こえます。

**緩やかな園路** 芝生の斜面にはスロープデッキがあり、柳などのトンネルを抜けて滑り台やクライムネットが左右に設置されています。この公園に植えられた樹木は大小合わせて約二万本、五十八品種に及びます。今はムシロが敷かれているその下には、草花



サウンドアンテナ

の種がびっしり付けられていて、春から初夏にかけて一斉に芽を出すそうです。四季折々を感じる樹木がしっかりと生きてきたら名札が付けられ、いろんな木の名前を覚えてもらえたらと期待されています。

**展望場所** 手摺が付いた、車椅子でも登れる緩やかなスロープを上り詰ると、展望台に着きました。右から市街地、羽津地区の全貌が見え、長島温泉まで一望できました。天気の良い日には、伊勢湾、知多半島までくっきりと見え、羽津の新名所になるでしょう。

桜の木と米洗川付近から移した梅の木で、どちらも三年後には美しい花を見ることができるといいます。いろいろな目的を踏まえ、市民の憩いの場所になることは、間違いないと確信して帰路に着きました。

## 地区交流 懇談会開催

平成九年度地区交流懇談会が、十一月二十日、羽津地区市民センターに於いて開催され、市側から井上市長はじめ関係部課長、地区側から各町自治会長、関係団体役員、地域社会づくり推進委員が出席し、意見交換を行いました。



本年度は、次の三項目を中心に、日ごろ当地区で直面する問題や、将来予想される問題について、それぞれ提言や意見発表がありました。後日特に重要な次の事項について、文書にて市へ要望書を提出しました。

一、青少年問題について  
(1) 青少年育成推進団体運営事業補助金について、団体への配分基準を、現行の団体一律同額から、構成子供会員数に比例配分とする等公平性を旨とした方法に見直しをしてもらいたい。

二、福祉問題、特に高齢者問題について  
痴呆、寝たきり状態になること、偏食からくる栄養の偏りも一因となっているとの観点から、これを防止するためバランスのとれた食生活を行なうよう、具体的な献立等を例示した分かりやすい文書を配布する、一人暮らし高齢者を対象に啓発を行なってもらいたい。

(2) 電ヶ浦町バス停からの乗車は、多数の緑地運動施設利用者の利用で、地元住民が積み残されることがあり、対策として現在のバス停で地元住民を乗せた後、移動して緑地近くで運動施設利用者に乗せるようにするため、競輪場南駐車場出入口付近へバス停新設を、市側より強くお願いしてもらいたい。

三、地区の課題について  
(1) 地区内生活道路の舗装工事は上に被せてゆくオーバーレイ方式であるのを改め、既舗装を全面撤去切り下げして、新しく舗装し直す方法により施工するようしてもらいたい。

## あ、環境！ 粗大ごみの山

### 粗大ごみ 不法投棄現場ルポ

車をはじめ、冷蔵庫、テレビ等家電製品が、無残に放置されている。タイヤ、建築廃材、ごみ袋が至る所に散乱、まさにごみ終末処理場の感がある。

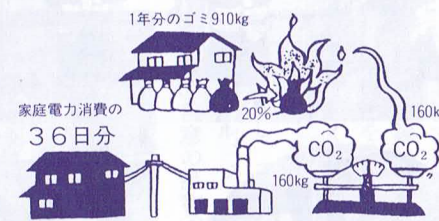
ここ鶴地区内に、数年前から、あらゆるごみが、不法に投棄されている現場がある。人や車の通行がほとんどなく、山と荒地に囲まれた場所、個人、会社の所有地と市道とに所かまわず、広範囲にわたって投棄されている。このまま放置しておけば、すぐに大きなごみの山になるだろう。

そこで、今回三年ぶりに二度目の撤去作業を一月三十日(金)に、鶴地区の関係者、地権者、市の各機関、警察等関係者、約五〇名が参加。大型重機、ごみ運搬車約一〇

台と手作業によって行われた。撤去作業は一日で終了、後日に持ち越された現場も出た程大変な作業で、モラルの低さを痛感した。

今後の対策として、「ごみ捨て禁止」の看板を立てて警告、地権者は所有地に防護柵を設置。警察は「取締りを強化するが、違反者を見つけたら、車のナンバー、日時等を通報してほしい」と市民の協力を要望した。後は、モラルの向上を待つしかないが、再度不法投棄が行われれば、関係者は「交通規制を含めた抜本的な対策をたてなければならぬ」と

ろう」と語った。皆さん、住みよい環境の街づくりをしようではありませんか。来年度の地域社会づくり事業は環境問題をテーマに、取組んでいきたいと思っています。ご協力を、お願い致します。



## ごみ減らしで温暖化を防止!

日本の標準家庭では、ゴミを20%減らすと、二酸化炭素の排出量を年間159.72キログラム減らすことができます。電気の節約によって二酸化炭素の排出量を同じだけ減らそうと思ったら、一年間に使う電気のうち約36日分も節約しなくてはなりません。ゴミを減らすことが、地球温暖化を防ぐのにも効果的なのが分かりますね。ちょっと気をつけて、ゴミを出さない生活を心掛けてみませんか。

### 環境講座を受講して 3/5羽津地区市民センター

地球の温暖化が進むと海面の水位上昇や異常気象による世界的な飢饉などが予想され、行政だけでなく私たち一人ひとりの自覚と行動が問われています。まずライフスタイルを見直し、できることから取り組む「私たちの町は私たちが守って行く」という姿勢が必要なのは、と感じました。最後に「もう私たちの時間はありません」(フーベル物理学者グンドール博士のことば)という言葉が強く印象に残りました。

## みんなのルール

**ごみ捨て禁止**  
ごみを違法に捨てた者は50万円以下の罰金又は6ヵ月以下の懲役に処せられます。  
四日市市 四日市北警察署



## みんなで考えよう!

**地球のピンチ 地球温暖化**  
地球の温暖化とは、氷河期と現在との違いの大きな気候の変化です。海面上昇で海に沈む島が出たり、地球規模の食糧危機や大規模な災害、熱帯の病気の北上などが心配されています。地球温暖化の原因は、空気中の二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)など(温室効果ガス)の濃度が増えることにあります。特に二酸化炭素は石油などの燃料を燃やすときに大量に出ます。このところ、家庭での旺盛な消費に伴って二酸化炭素の排出量が増えています。その伸び率は、工場などからの排出量の増加率を大幅に上回っており問題になっています。

### 市制100周年記念

# はづフェスタ'97

10/25(土)→26日

秋晴れの中

「年令を越えた交流を」「文化とスポーツの会うまち」を合言葉にフェスタが開催されました。当日は、予想をはるかに上まわる3000人以上の人出となり、あちこちでうれしい悲鳴があがっていました。地区の皆様をはじめとして連合自治会、各種団体の方々のご協力があったからこそ、この日につながる事ができたと思います。改めてお礼申し上げます。皆様に喜んでいただこうと準備を重ねてきたスタッフを代表して、各部門の責任者の方に感想をお聞きしました。

## 文化部門

例年三月に行う文化祭を兼ねて、羽津小学校等、二会場で開催した。

二三の文化サークルの作品と、有志の作品一五九点の展示や、約一五〇名の舞台演技等で、日頃の成果が発表された。特に茶席コーナーでは、京都の家元による、為書の軸が掛けてあり、茶器も銘の通ったのを使用し、高級な雰囲気の出た茶室であった。

保育園、幼稚園、小中学校の児童も、八四六名の作品を出展、四四四名がステージに出演して、成果を発表した。児童のコーラスと遊戯の発表時には、出演者と客席が一体となって盛り上がった。

羽津交通安全協会の女性部員による、アンパンマンの寸劇と、腹話術と交通安全を啓発し、会場の子供達との対話で、楽しいステージとなった。

羽津消防分団も、北消防署の協力を得て防災をPR、ハシゴ車と地震体験車の試乗には子供達の長い列が出来程の大盛況であった。

また、羽津地区に三連ある獅子舞の中、中南条獅子連中による舞が披露された。口取りの子供と獅子との掛合の妙に大きな拍手が起き、多くの人々が、郷土の伝統芸能を堪能した。

特に、このイベントのテーマである「世代間の交流」に基づき七十歳以上の方々に、小学生児童によ

る一言を書き添えた案内状を送り、約二〇〇名を招待した。ハンドベルコーラスでは、歌で参加してもらい、子供との交流では、お手玉遊び、わら細工、折紙細工、わた菓子、ホテル籠づくり等を行った。高齢者には昔を懐かしみ、子供達には知らなかった遊びを教えてもらい、良い体験になったと思う。

他に、子供向けとして「子供映画会」「ビンゴゲーム」を行い好評であった。

「世代間の交流」をテーマにしたこのイベントも、他の部門と併せて盛況のうちに終了した。ご協力ありがとうございました。



### 舞台芸能発表会

園児によるステージ発表  
エイッヤノ、決まったね!

## スポーツ部門

初日の「グラウンドゴルフ」の盛況に続き、二日目の「スポーツフェア」では、何よりもありがたかったのが、両日共良い天気にも恵まれたことでした。

進行係として大変だったのは、大きなスケジュールの中での調整でしたが、それも予想以上の参加者で、苦勞も吹っ飛びました。テーマ「世代間の交流」として、「町別対抗玉入れ競争」は、大人子供が交わり、町が一つになってがんばって、大変盛り上がったと思います。これらの運動会では、人気競技種目になるのではと言う声も聞かれました。

印象に残っているのは、「ミニ四駆」で見た子供たちの生き生き輝いた目と「玉入れ競争」に特別参加していただいた、ブルミングハウスの人たちのあの笑顔です。今回、地区イベントが、盛況裡に無事行なえたのは、各団体の役員の協力をはじめ、地区の皆さんの理解と積極的な参加意識が、あったからだと思います。



### 「ミニ四駆」に 子どもたちの熱い眼!



### 号砲一発 スタートダッシュ みんながんばれ!

①如何に大勢の方々に参加して頂けるか。②開催日の天候。③善意の品物、古本などの程度集まるか。積極的に各種の機関を通じて参加を呼びかける。各コーナーの販売数(基礎)は羽津地区世帯数に、イベントへの関心度等から最低500名で積算の基礎とし、販売価格は参加される皆さんに喜んでもらえる小銭で買える価格とした。各コーナーのスタッフ団体は、小中学校PTA・民生保護司・ふれあいの会・婦人会・自治会の皆様で総勢53

## テント村

テント村では準備委員会を作り基本構想を練った。百周年に相応しい地域性を生かした「いち」をテント村で開く。数多くの中より次の4つのコーナーに絞った。①食べ物(みたらし、フランクフルト、うどん、ビール、ジュース、おでん)②お花③善意の品物④古本。



どれにしようかなあ〜

名。希望と不安が交差する中で準備委員会が進み、開催日が近づいて心配事が解消されて来た。中でも善意の品物が沢山集まり始め、置場所を拡大する様になった。また値付けをどうするか、多くの方々の知恵と努力で色分けする事で解決した。

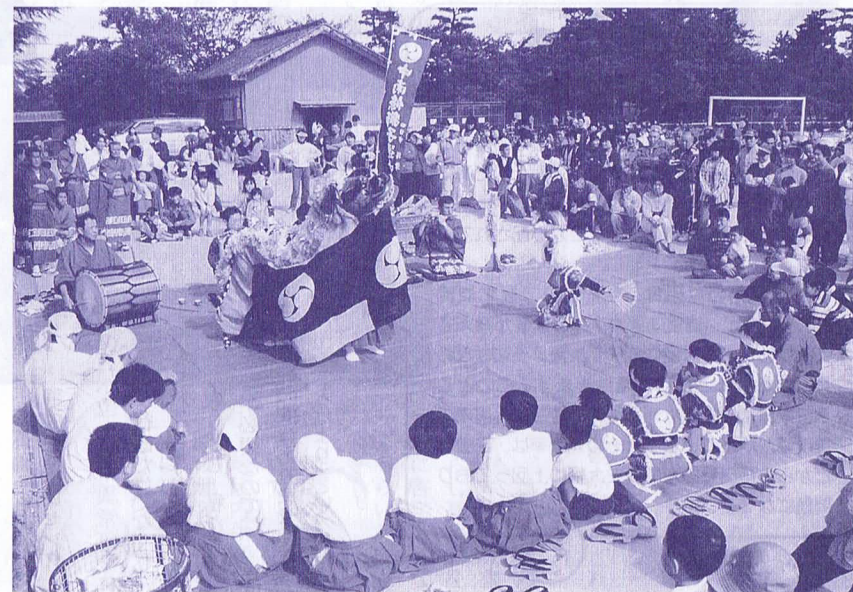
開催当日、天気良し、テント準備良し。食べ物コーナーでは夫々の秘伝があり、専門家の意見を聞いた味付けに、PTA及びふれあいの会の皆さんが盛んにチャレンジして頂きました。善意の品物は約30分で完売、お花も選択が良かったので売行き好調。食べ物コーナーは何れも早目に完売、テント村スタッフ一同安堵の胸を撫でおろした。イベントが安全で楽しい2日間であったのは全スタッフの支えの賜物と心より感謝申し上げます。有難うございました。



おいしそうに焼けたかなあ〜



作品展示の数々



伝統芸能の舞に拍手!

### 「青少年育成部会」

#### ウォークラリー大会

昨年十一月二十三日に行なわれたウォークラリー当日は、天候に恵まれ、多数の参加者がありました。九月の初めから準備が進められて、育成部員が何回も下見を行ない、安全第一に子供の目線と行動を考えながら、コマ地図作りが始まりました。

常日ごろ気付かない標識の多さや、都会では一個千円もする柵榴が道端になっていたりと、驚くことばかり……

ウォークラリーの目的地は霞ヶ浦緑地で、当日は花フェスタも開催されて、人の出入りが多くて若干の心配もありましたが、参加者全員の協力のおかげで無事に行事を終えることができました。



「環境・交通安全部会」  
あじさいの手入れ  
昨年まで二回にわたって行なってきました植樹。羽津、羽津北両小学校のアジサイ、羽津会館のアメリカ花木、これの草取りと施肥をしてアジサイの補植を三月八日に行ないました。部員の皆様、並びに安協の人達には御協力いただき有りがとうございました。



## 平成九年度

# 社協事業部だより

### 「福祉部会」

#### 福祉講座より

昨年度好評を頂きました高齢者福祉講座ですが、今年も三月十日、地区市民センターにて開催致しました。

市の高齢福祉課、西村裕一課長をお迎えしての、お話でした。平成十二年四月一日から始まる介護保険制度を説明していただき、疑問点について話していただきました。今以上に福祉が充実するには、私たち住民の助けあいも求められているのを感じました。



### 「健康推進部会」

#### 世代間交流をテーマに

地区の百周年イベントの余韻を残し、同じく世代間の交流をテーマに置いて、今年も「ゲートボール大会」と「グラウンドゴルフ大会」を両小学校で開催しました。

まだまだ根強い人気のゲートボール、ただ、初心者にはなかなかむずかしそうです。グラウンドゴルフは、体振での部活の影響もあり、誰でもすぐ入れるという事で、大盛況でした。これからも、地区のニュースを見



で、気軽に参加して下さい。

みなさん  
ご協力ありがとうございました

## 地域の活動

### 羽津消防分団の

#### 火災出動について

以前は、火災が発生すると、四日市消防本部司令室より、電話で団長宅に「某所で火災発生、出動して下さい」と要請があり、羽津消防分団の各分団員へ、昼夜それぞれの連絡網にて連絡し火災現場に出動していました。

平成七年より、五名の団員宅に直接、火災出動の電話連絡要請が行われるようになり、出動時間が短縮されました。

平成八年には、防災サイレンが市民センター裏に設置され、八月より、防災サイレンによる火災出動要請が始まり、尚一層の出動時間が短縮されました。

平成九年の羽津地区への分団出動は、火災・其他災害で11件で、他地区への火災出動は10件でした。昨年に比較すると少し多い件数です。羽津地区の火災発生の知らせは、消防車庫北の消防サイレンの吹鳴のしかたで他地区との識別を行っています。防災サイレンで、火災と確認して、少しおいて消防車庫北の消防サイレンが吹鳴して聞こえた時、羽津地区のどこかで、火災が発生したと思って下さい。

お互いに、火の元には十分に気をつけて火災発生をなくしましょう。火の恐怖を知らない「社会にしたいものです。(羽津消防分団)

### 電車旅行

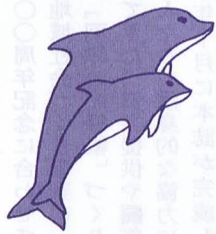
五階建てのビルが大きな水槽になっているような、その中を雄大な二匹のジンベイザメが五尺以上もある体でゆっくりゆっくり目の前を泳いでゆく、この水族館ならではの醍醐味でしょうか。

昨年十一月三日、大阪海遊館に総人数七百五十名が参加していただきました。

多数の参加者のため急ぎよ臨時電車を増発させて三班での出発でした。当日は天気にもどうにかめぐまれ早朝から大阪に向かいました。電車の中では、各町で大人は近所の方々と楽しい会話にはなをさかせ、子供たちはゲームやビデオなど、団体専用電車ならではの楽しい時間を過ごし、現地では、海遊館とその周辺のショッピングセンターでのひととき、たちまち時間がすぎ心配された事故もなく、無事に帰宅の途につきました。

同じ町内の方々と行く電車旅行はまた一段と楽しみです、今年もまた企画します。是非ご参加下さい。

(青少年育成協議会)



### ひとりぐらし 老人の集い

昨年十一月十九日、ボランティアグループと、民生委員が、地区内のひとりぐらし老人七三名の方を招待し、ハモニカ演奏者、清島昭治氏を迎えて、なつメロの合唱をしました。互いの話を交えての食事会をして、楽しい一日を過ごして頂きました。

(民生児童委員)



可愛いお子さん  
による踊りも  
披露されました。



### 子供達の手で 町をきれいに

十二月十四日に羽津スポーツ少年団の第三回ボランティア活動「あき缶ひろい」を行いました。年々団員数が減り、大会などで来れない子もいる中、朝九時前に約百人余の子供たちが羽津北小学校へ集合しました。西はいかるが神社付近から近鉄霞ヶ浦駅・羽津小学校周辺や23号線手前まで羽津地区全体を9コースに分れてあき缶やゴミを拾い集めました。羽津北小へ戻ってアルミ缶スチール缶・

ピンなどの仕分け作業を行い、お昼前には終了。羽津の町がきれいになったところでお母さんたちが作ってくれたあったかい豚汁とお弁当を食べて終わりました。低学年の子も参加するなかで指導者の方やお父さん・お母さんのご協力を得て、無事に事故もなくできました。いつもはスポーツをメインとしている団体ですが、このような行事を通して子供たちが「自分たちの町をきれいに」と意識してくれればと思っています。

(羽津スポーツ少年団)

### 公平さを心がけて

盛況の内に終了したはづフェスタ97ですが、人が多く集まれば集まる程、駐車には苦勞をするもの、毎年のことで早朝と昼休み時の駐車禁止には特に気がつかれました。一

台外を認めると、しめしがつかなくなりですので、公平さを心がけ全員の皆様、体の不自由な方には申しわけなかつたと思います。何か良い対策があればと思います。

(羽津交通安全協会)

### ソフトボール大会

昨年、十一月九日、第十四回地区秋期ソフトボール大会を、羽津北小グラウンドで行いました。年々参加チームが減ってきています。我々と思わぬ方、町委員さんに参加の申し込みをして下さい。尚、結果は次の通りです。

Aブロック		白須賀	16	八田
Bブロック		白須賀	17	羽津中
優勝戦		白須賀	20	17
白須賀	20	17	19	1
白須賀	15	2	12	7
白須賀	3	2	3	2
白須賀	20	17	19	1
白須賀	15	2	12	7
白須賀	3	2	3	2

(体育振興協議会)

羽津の記録帳

— ひらけゆくまち はづ いま・むかし —

発行を終えて



市制一〇〇周年記念に合わせて羽津地区地域社会づくり事業の一つとして「羽津の記録帳」づくりを行なってきた。資料提供や編集に携わる人たちの献身的な協力により、昨年十月に本誌が完成して、連合自治会加入の全世帯のほか、必要な関係先にも贈呈配布された。

また、現在羽津地区外に居住の親戚や知人の人たちにも、家族や関係者が購入して、多数届けられたと伺っている。

市内でも有数の歴史遺産の多いこの羽津地区が、静かな農村から今や四日市市の中心地帯へと変動していった。その移り変わりを記録したことで、昔を偲ぶためには有意義であったと思うし、特に地区外に住んでみえる人たちから、

「懐かしくて何回も読み直しまし

た」との便りも寄せられた由。編集にあたっては、できるだけ昔の写真や挿入して平易な文章とし、難読な漢字にはルビを付けるなど、一人でも多くの方たちに読んで貰うよう配慮したつもりである。

内容は四十ページの小冊子ながら、明治年代以降の羽津地区の移り変わりを盛り込んであり、懐かしい写真などから霞ヶ浦海岸の今昔や、東海道筋に残された旧跡、羽津用水の水争い事件など、私たちの祖先の生活風景が眼のあたりに浮かぶ思いがする。

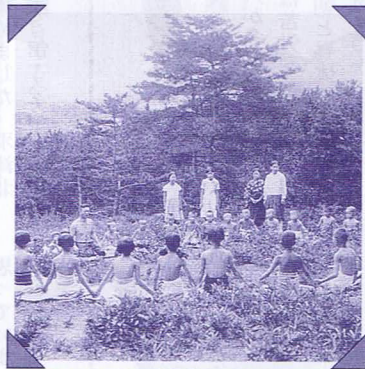
この冊子を通じて、羽津地区の住民一人ひとりがふるさと意識をもつて、住みよいまちづくりを協力していただきたいと思う。

『ひらけゆくまち、はづ、いま・むかし』の作成にあたり、数多くの資料を提供していただいた方々、また、本誌編集にご協力いただいた人々に、心から謝意を表した

セピア色のはづ

こんな写真を見つけました。  
この辺り一帯は現在の羽津山緑地(表紙の写真)に続いています。

— 記録帳にのらなかった写真より —



垂坂山での正座日光浴風景

戦争中?のものでしょうか?  
この頃の子供たちは  
今どうしてみえるでしょうか。

編集後記

「地区社協」は、五つの部会があります。各部の活動は、事業部だよりでお知らせしていますが、広報文化部会は載っていませんね。

今年、市制百周年記念イベントはづフェスタ'97の文化発表部門の、舞台裏方を担当しました。しかし、主な活動は、今お読みいただいている「広報第35号」を発行することにあります。部員十三名で作った広報に、皆さんの感想・ご意見をお寄せ下さい。